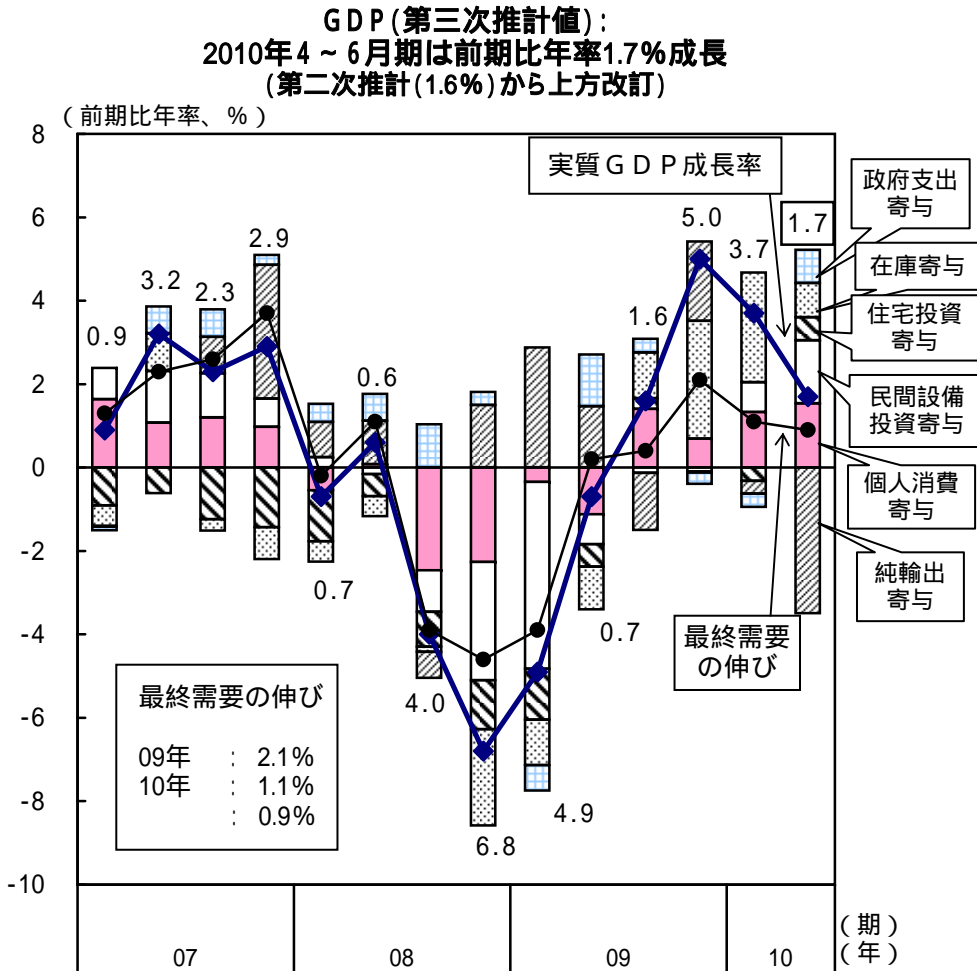


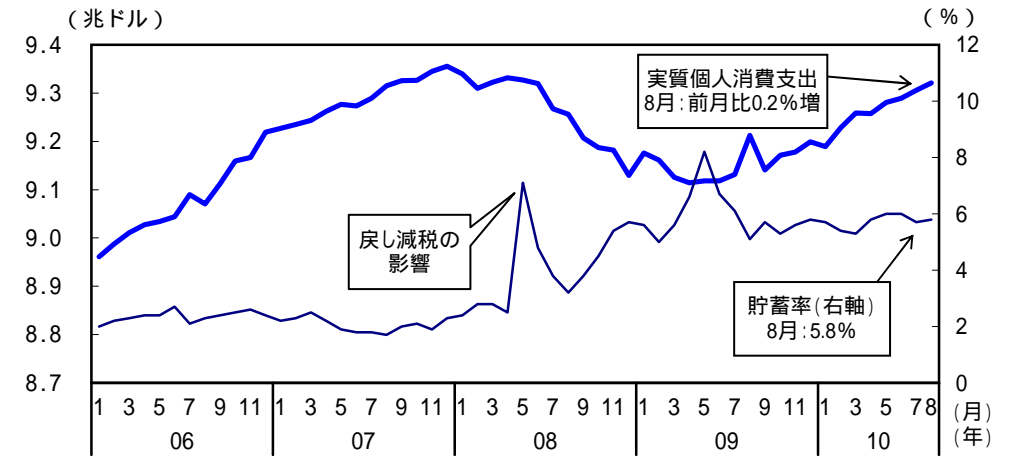
1. アメリカ

アメリカでは、失業率が高止まるなど下押し要因は依然としてあるものの、政策効果もあり、景気は緩やかに回復している。先行きについては、基調としては緩やかな回復が続くと見込まれる。ただし、信用収縮や高い失業率が継続すること等により、景気回復が停滞するリスクがある。また、景況感を示す指標に弱い動きがみられることには留意する必要がある。

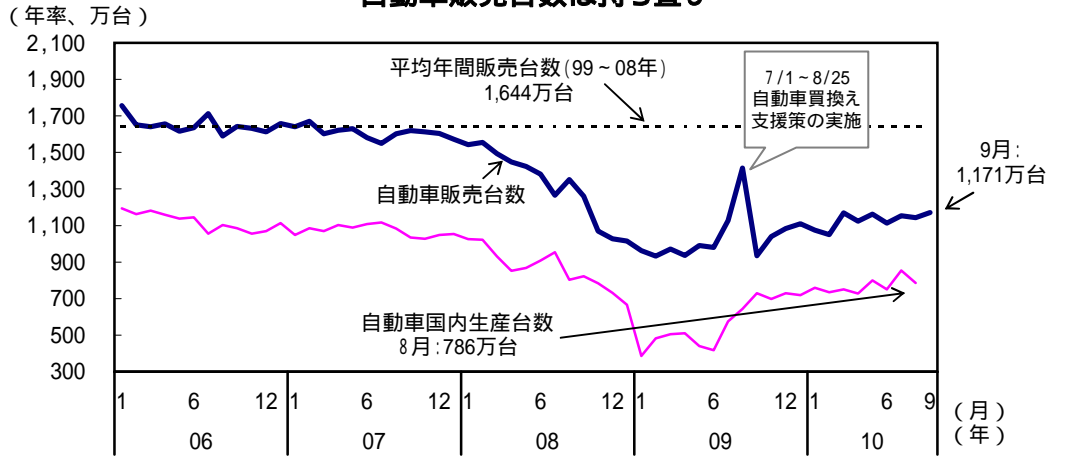


(備考) アメリカ商務省より作成。

消費:消費は緩やかに持ち直し

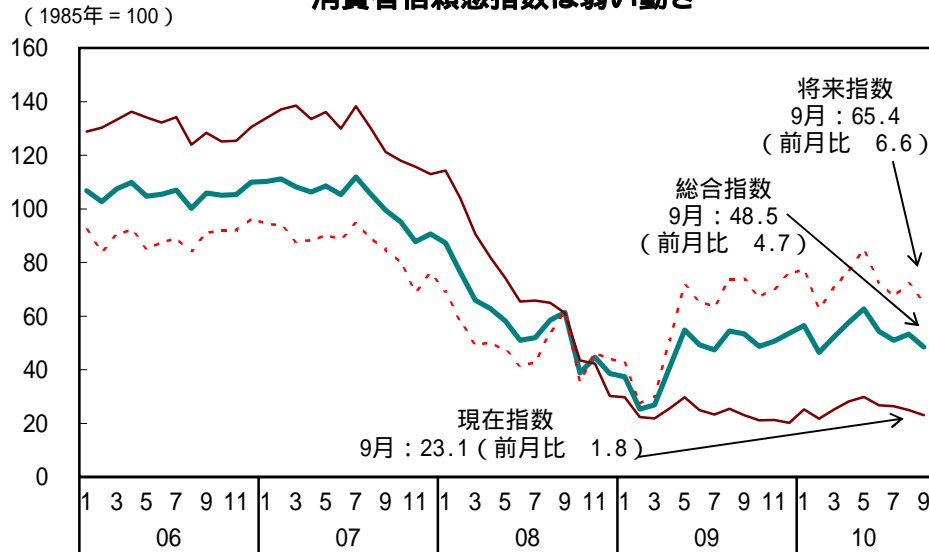


自動車販売台数は持ち直し



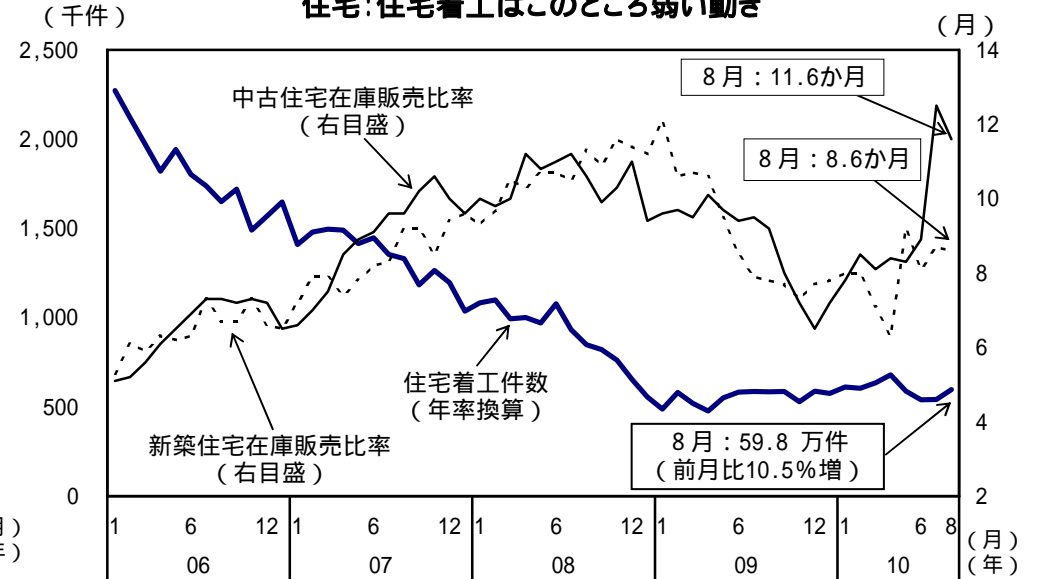
(備考) 1. アメリカ商務省、連邦準備制度理事会(FRB)より作成。
 2. 09年7月1日より、燃費の悪い中古車を下取りにして、低燃費の新車に買い換える者に対して購入額の割引(3,500ドル(約34万円)又は4,500ドル(約43万円))を行う措置を実施。当初予算額は10億ドルとされていたが、09年8月6日に20億ドル増額し、30億ドルとした。
 3. 当措置は申込みの殺到により、09年8月25日で申請受付を終了した。実績は約68万台。

消費者信頼感指数は弱い動き



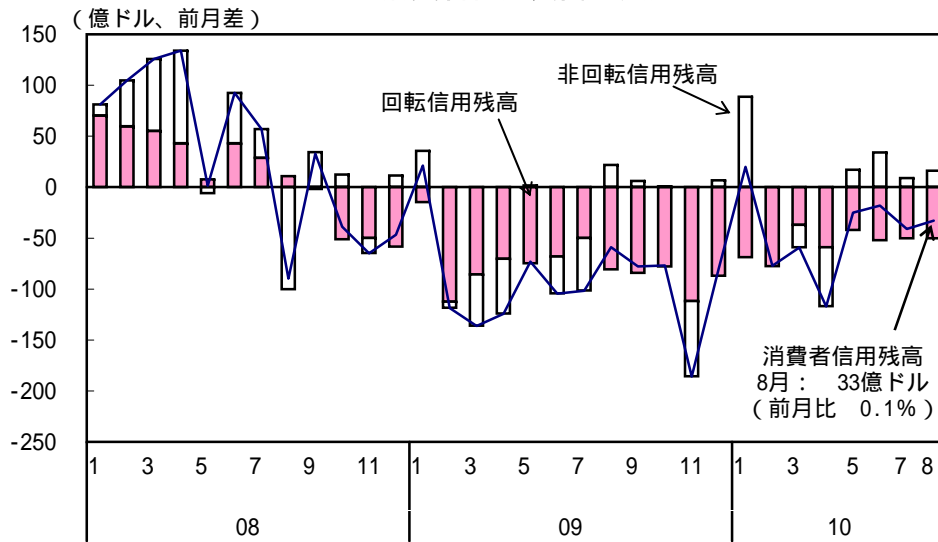
(備考) 1. コンファレンス・ボードより作成。
2. 「将来指数」は6か月後の見通し。

住宅:住宅着工はこのところ弱い動き



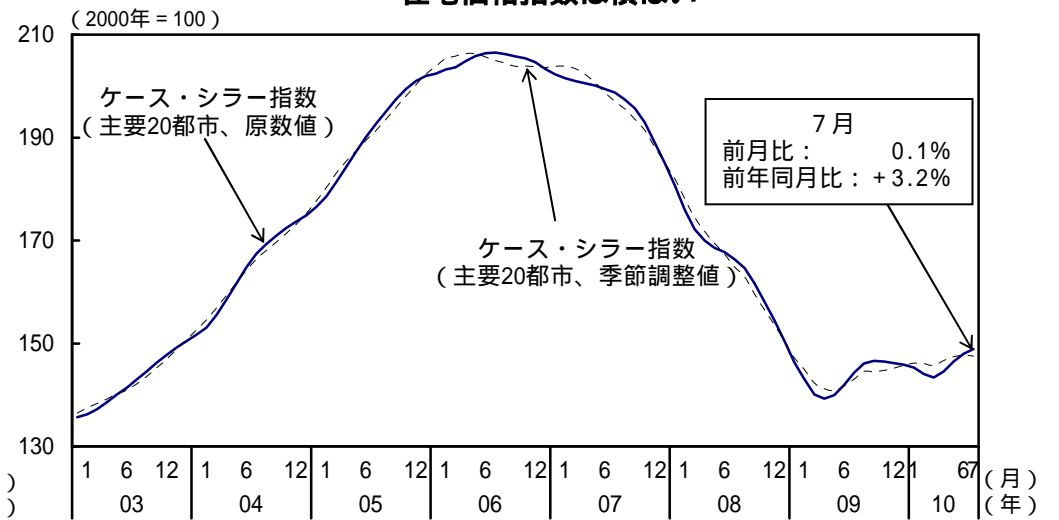
(備考) 1. アメリカ商務省、全米不動産業者協会 (NAR) より作成。
2. 在庫販売比率は、現在の住宅販売に対して何か月分の住宅在庫があるかを示す。

消費者信用残高は減少



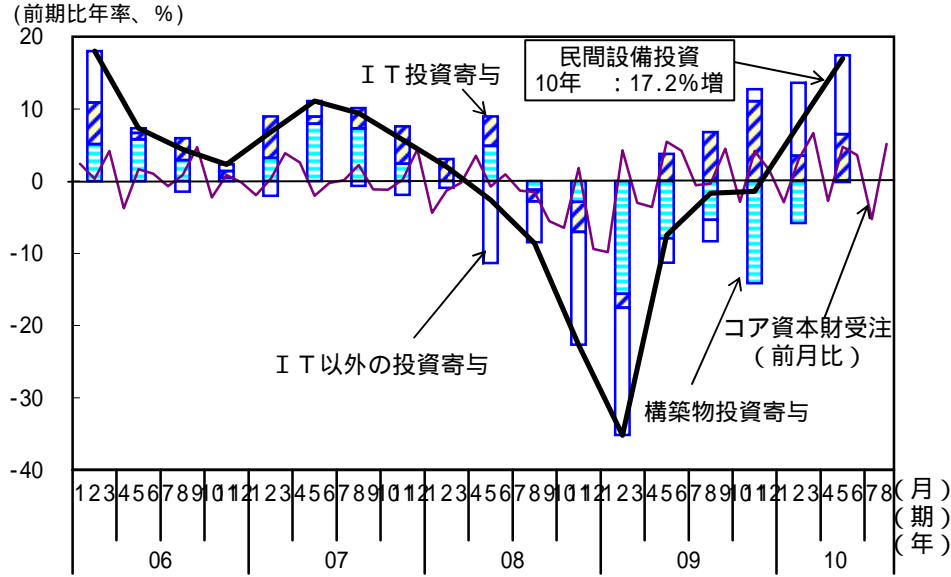
(備考) 連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。

住宅価格指数は横ばい



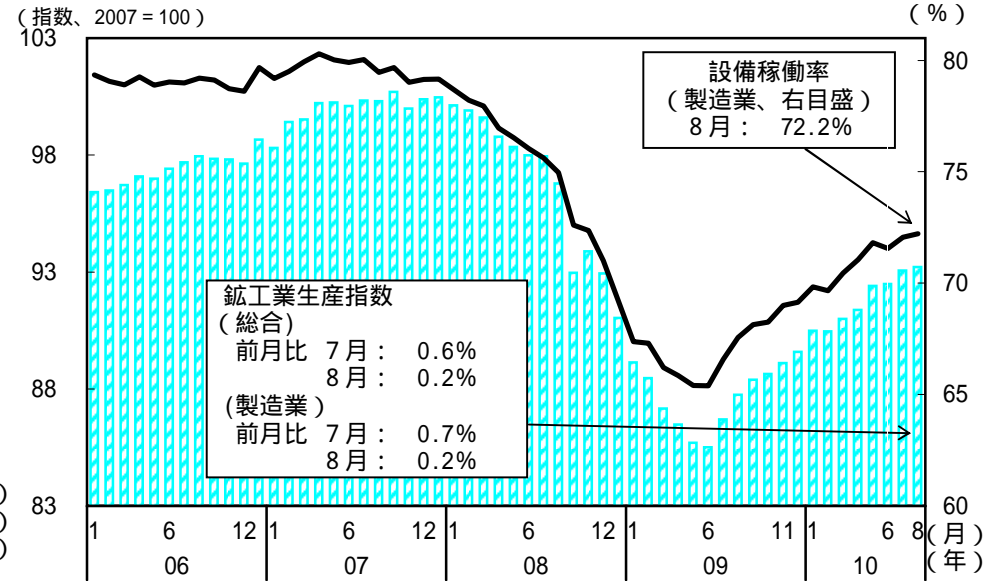
(備考) スタンダード・アンド・プアーズより作成。

設備投資:設備投資は緩やかに増加



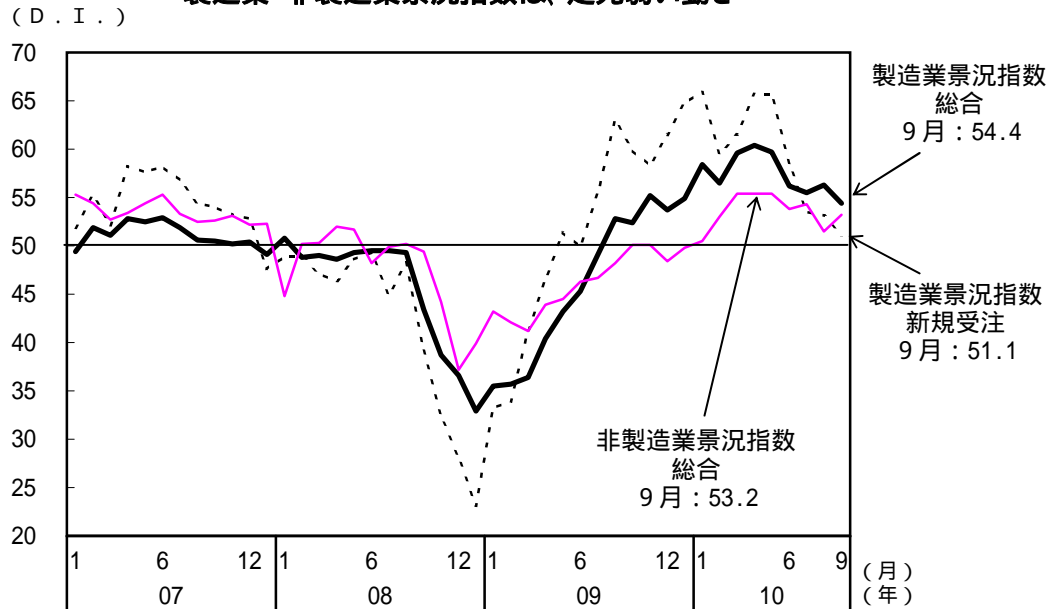
(備考) アメリカ商務省より作成。

生産:生産は増加



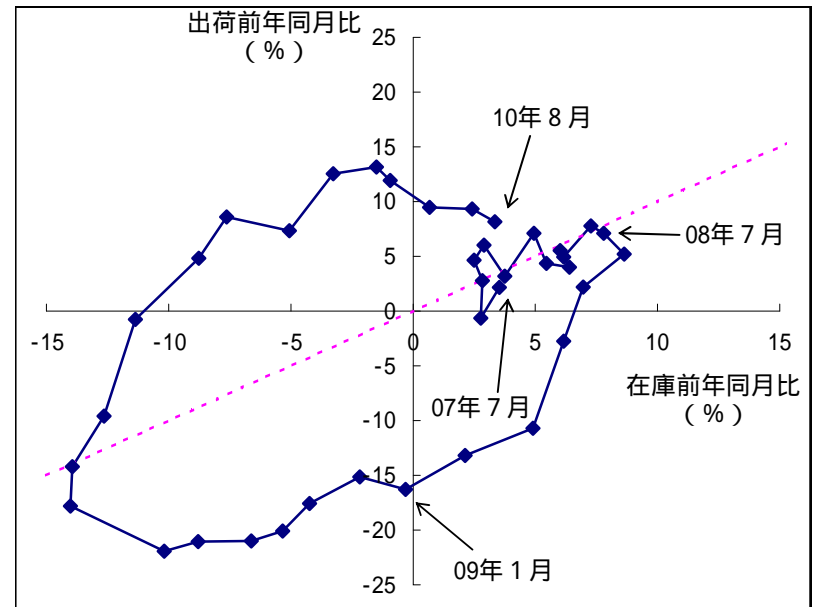
(備考) 連邦準備制度理事会 (F R B) より作成。

製造業・非製造業景況指数は、足元弱い動き



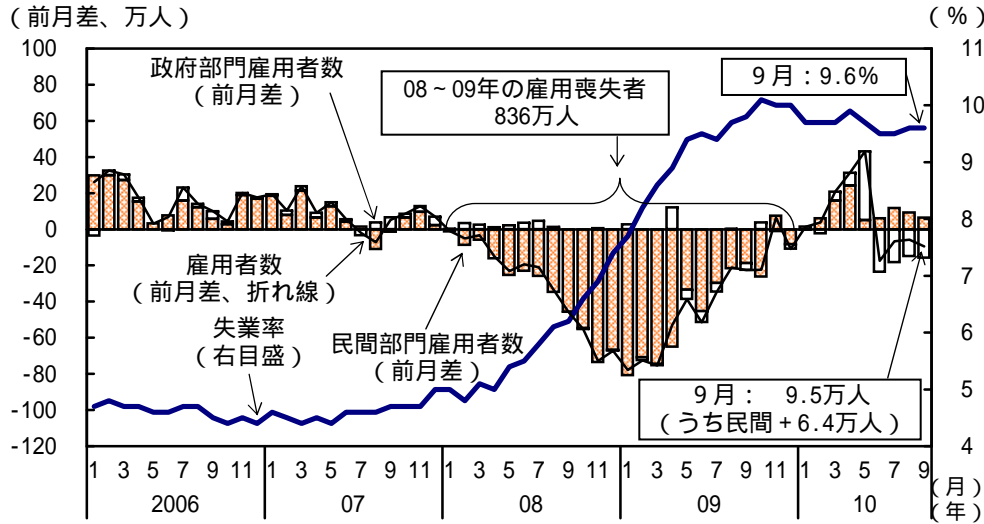
(備考) 全米供給管理協会 (I S M) より作成。

在庫循環図(製造業)



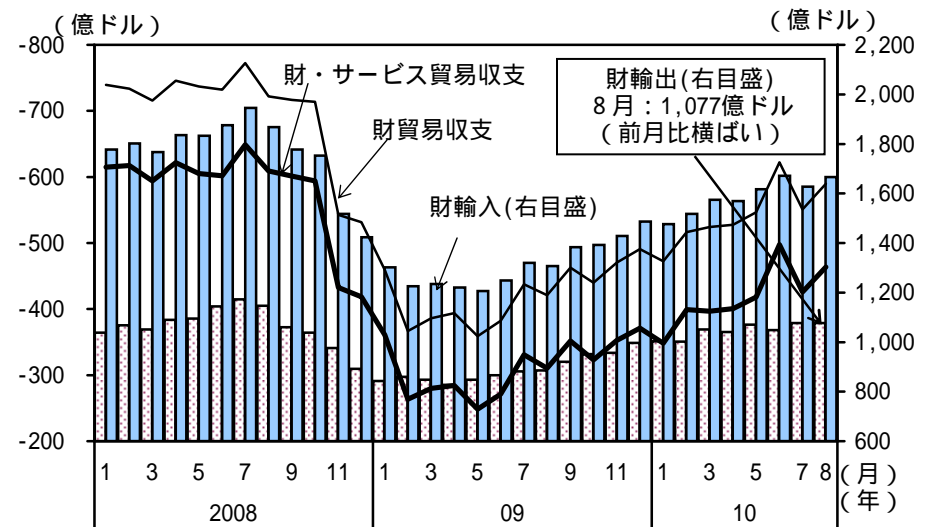
(備考) アメリカ商務省より作成。

雇用:民間部門の雇用者数は緩やかに増加しているが、失業率は10%近傍の高い水準



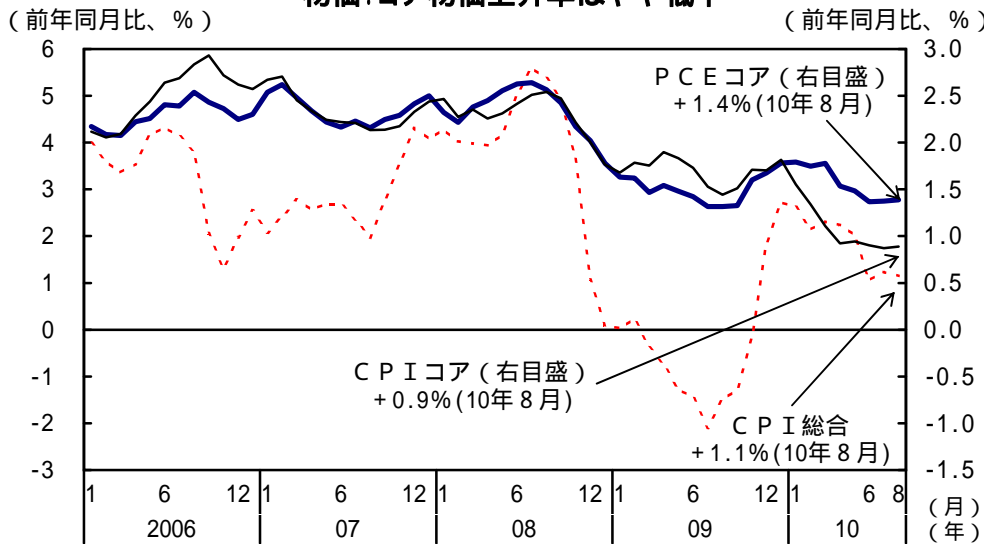
(備考) アメリカ労働省より作成。雇用者数は非農業部門。

貿易:財輸出はこのところ弱い動き



(備考) アメリカ商務省より作成。

物価:コア物価上昇率はやや低下



(備考) 1. アメリカ労働省、商務省より作成。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食料を除いた指数である。

NBER、景気後退局面の終了を宣言(10年9月20日)

- ・全米経済研究所(NBER)は、9月20日、2007年12月に始まった今次の景気後退局面は、09年6月に景気の谷を迎えたと認定。
- ・今次の景気後退期間は18ヶ月となり、戦後最長。戦後におけるこれまでの最長は、1973年11月~75年3月及び81年7月~82年11月のそれぞれ16ヶ月。
- ・なお、20世紀以降の最長は、1929年8月~33年3月(大恐慌)の43ヶ月。

(備考)

1. アメリカの景気循環については、非営利の研究機関であるNBERが設置した景気日付委員会が判定し、景気の山谷を特定。
2. 同委員会では、景気の後退を「経済全般にわたる活動の著しい低下が数ヶ月にわたって続くこと」と定義し、実質GDP、鉱工業生産、雇用、実質所得、卸・小売売上高に基づいて、景気の山谷を認定。

主要国際機関等による見通し

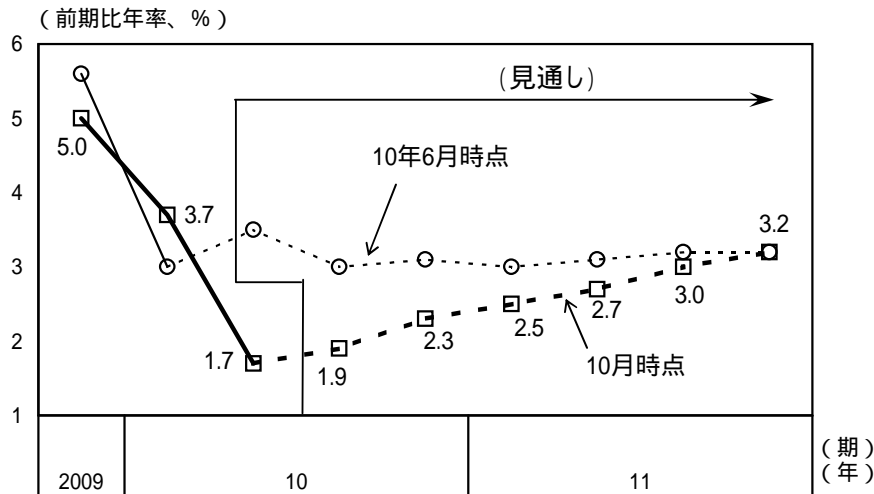
(前年比、%)

		2010年	11年
ブルーチップ (民間見通し平均) (10月10日)	上位10社	2.8	3.1
	平均	2.7	2.5
	下位10社	2.6	1.8
IMF (10月6日)		2.6	2.3
議会予算局 (CBO) (8月19日)		3.0	2.1
行政管理予算局 (OMB) (7月23日)		3.2	3.6
OECD (5月26日)		3.2	3.2

(前期比年率、%)

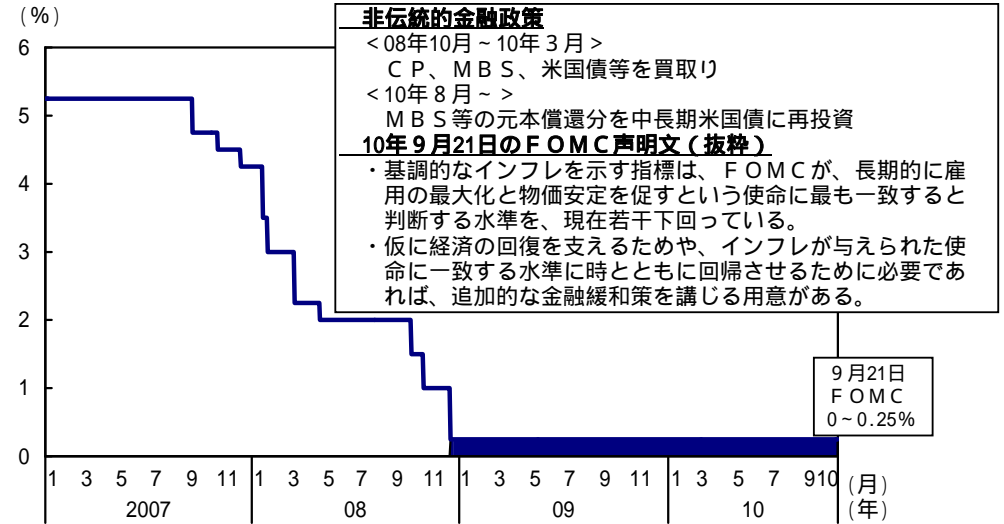
	2010年		11年			
	1	2	3	4		
ブルーチップ (民間見通し平均)	1.9	2.3	2.5	2.7	3.0	3.2
OECD (10年5月26日)	2.8	2.7	3.1	3.4	3.5	3.7

民間見通し平均: 徐々に下方修正



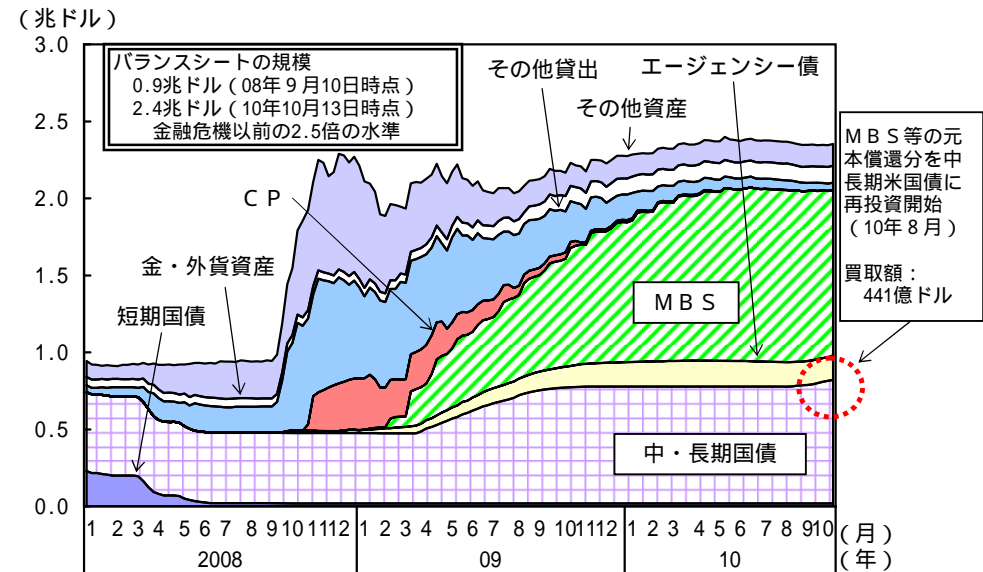
(備考) ブルーチップ・インディケータ (10年10月10日号)、IMF “World Economic Outlook” (10年10月6日)、アメリカ議会予算局 (10年8月19日)、アメリカ行政管理予算局 (10年7月23日)、OECD “Economic Outlook 87” (10年5月26日) より作成。

金融政策



(備考) 連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。

FRBのバランスシート



(備考) 連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。